



## 内容を充実、みどり通信 2020年春号発行

この度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、不自由な思いをされた方も多いのではないのでしょうか。予防を徹底し早く収束に向かってほしいものです。

さて藤白台デイサービスセンターは今年で17周年を迎え、このみどり通信も今号で第49号発行となりました。今まで様々なかたちで当センターでの様子やご高齢者の方を中心に地域の皆様が生き生きと生活していくのに役立つ情報を発信して参りました。今号より更に内容を充実させて、当センターに関わって下さっている方々の思いをインタビュー形式でご紹介したり、居宅でお困りと思われることを介護のポイントのコーナーとして設けました。是非ご一読ください。今後とも藤白台デイサービスセンターの活動にご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

### ～突撃インタビュー～

新コーナー

第一弾として、デイサービスで週2回行っている  
絵画教室の講師、うらのかなさんの登場です。

✎日頃の活動は？「豊中市で絵画・書道教室  
『かなかなファクトリー』を開いています」

✎いつから勤務されていますか？「15年位になります」

✎心がけていることは？「上手に描くというより、自由に楽しんで描いていただいています」

✎高齢の方が描く効果は？「右脳を使って手先を動かすことで、リハビリ効果があります」

✎この教室で思う事は？「最初は苦手意識でなかなか描けなかった方も、少しずつ無理なく描かれるようになるという変化が見られて嬉しい。私自身の倍近く生きてこられた人生の大先輩から色々なお話を伺えて、貴重な体験をさせていただいています」



### ～ある日のお昼ごはん～

当デイサービスセンターでは、行事食や駅弁、都道府県のご当地メニューなど、趣向を凝らしたメニューを提供しています。この日はホワイトデーで、ハンバーグチーズソースです。人参もハート型です



### ～介護ワンポイント～ 「同じことを何度もたずねる」

2018年に認知症の人は500万人を超え、65歳以上のほぼ7人に1人を占めると見込まれています。認知症は、大切な家族、友人、自分自身、すべての人に起こりうる身近で切実な問題です。

今回は、主にご自宅で介護されているご家族のご相談の一部に「同じことを何度もたずねる」「歩きまわる」「暴言・暴力」があります。これらは一見すると全く違う要因のように見えますが、その原因は共通している可能性があります。それは、ご本人の「不安な気持ち」が募って、それが引き金となるということです。

#### <対策>不安を取り除く工夫

①静かな環境で安心できる人と過ごす。

外から入ってくる情報（例えば来客、TVつけっぱなし、うるさい環境など）が多すぎると混乱しやすい。

②思い出ノートを作りケアに活用する。

折に触れて、ご本人に楽しかった思い出をたずねてノートに記録したり、関連した写真などを貼って作成する。

(※ノートは、ご本人に関わる全ての方々が「あなたの事を大切に思っています」と伝える貴重な材料になる。)

参照：「家族のためのコマンチュード」



### ご卒園おめでとうございます！

やわらかな春の日差しが感じられる中、もみの木保育園、もみの木千里保育園の年長クラスの園児さんがご卒園されました。

今年は新型コロナウイルスの影響で、ご卒園前の交流会が中止となりました。この一年で大きく成長された園児さんに会えず残念でしたが、ご利用者様と手作りしたご卒園お祝いのカード、リボン、そして新一年生になられたら使ってもらえるよう雑巾をプレゼントしました。



### ～ホームページ更新してまます～

藤白台デイサービスセンターのホームページでは、ご利用においての空き情報、昼食の献立、行事内容など毎月更新してのせています。またデイサービス内の飾りつけ、ご利用者様の作品などものせていく予定です。

「吹田みどり福祉会」のアドレス、

<http://suitamidori-f.jp/>

是非ともご覧になってください。



### ～ボランティアさん募集～

将棋のお相手、楽器演奏、手芸、本の読み聞かせなど少しの時間でも構いません。お手伝いしていただけませんか？

### ～編集後記～

日本人の心に最もなじむ花と云えば、やはり桜でしょうか。お花見の桜の代表格「染井吉野」、実は比較的新しい品種で江戸時代につくられたもの、それ以前はほんのりと咲く山桜のことでした。満開の時は、絢爛たる美しさ、さまざまな場所、時々の時期によって趣の違う多彩な表情を見せてくれる奥深き桜、なのにしみじみと春を感じる和菓子が食べたくなるのはなぜでしょう。

